

真宗

〈教団の動き〉
「教化伝道研修」 第5期始まる
第13回「坊守就任研修会・坊守就任式」 開催
真宗本廟 お煤払い
〈災害救援本部より〉
青森県東方沖を震源とする地震について
勿忘の鐘——2026—

2月号

2026(令和8)年



雪の阿弥陀堂

真
宗

2月号

第1463号

樹心佛地「一人の念仏者の誕生」を願い」	2
教団の動き	3
「教化伝道研修」第5期始まる	
第13回「坊守就任研修会・坊守就任式」開催	
真宗本廟 お煤払い	
真宗大谷派学校連合会 結成60周年記念「合同報恩講」厳修	
〈災害救援本部より〉	
青森県東方沖を震源とする地震について	7
勿忘の鐘—2026—	8

お知らせ

【東北教区】保養事業及び「子どもたちを放射能からまもろう基金」の取り扱いについて 9

教行信証（坂東本）カラー影印本申込受付中..... 10

ご案内 2026年 喜宗本廟 春の法要

春の法要 日程	12
2026年「春の法要」参拝のご案内	14
春の法要出仕要項	17

各種連載

児童教化のページ (597).....	18
今月のお寺 (232) 〈敬信寺〉「新しい地での試行錯誤」.....	20

ご案内・要項

総合相談室	21
教区真宗学院生募集要項（金沢・大垣・名古屋）	26
第60回「京の冬の旅」大寂殿・宮御殿・鐘楼 特別公開	27
真宗本廟奉仕・縁・諸研修報告【上山報告】	28
第26回非戦・平和沖縄研修会 募集要項	29
蓮如さんゆかりの吉崎別院での『御文』講習会 参加者募集	30
「蓮如上人御影道中」自主参加者募集	31
第14回世界同朋大会のご案内	32
第3回「真宗トーケ」アプリで対話カフェ 参加者募集	34
真宗本廟奉仕のご案内	35
現在受付中の募集・開催要項等	35
真宗教化センター しんらん交流館のご案内	36
大谷祖廟（親鸞聖人御廟所）のご案内	36
真宗本廟 参拜接待所のご案内	38
真宗本廟収骨・説経・帰散式受付時間表（3月～4月）	40

宗派公式ウェブサイトで宗派情報の発信を行っています。



各教区・開教区等の
行事一覧



新刊のご案内

「まんが日本昔ばなし」にも収録される
民話をもとにした絵本

たぬきの手習い

絵：こやまもえ

あの信楽焼の狸の姿の由来ともいわれる、
滋賀県長浜市の民話をもとにした絵本。

人間の子どもに化け、村の子たちと一緒に
お坊さんから読み書きを習っていたこだぬき
たち。そのお礼にお酒をお坊さんに届けるも、
正体が分かり、こだぬきたちはお寺に行けな
くなってしまう…。

悲しくもやさしいお話をとおして『共に生き
たい。』という大切なメッセージを伝える一冊。

B5判／24頁 定価：1,540円(税込)

東本願寺出版
HONMON-HONGANJI PUBLISHING

TEL:075-371-9189まで

詳しい書籍情報・
試し読みは

東本願寺出版

検索

五
〇
五
年
発
売
の
オ
ス
ス
メ
本
特
集

■ 哲学書としての「教行信証」。

法 藏 文 館

教 行 信 証 の 哲 学

石 内 義 謙 (著)

田 康 麟 和・若 田 文 昭 (監修)

■ 異彩を放つ親鸞の物語は、いかにして誕生し変容してきたのか。

■ 最古の「教行信証」註釈者が現代語訳に。

■ 現代語訳

三木 清 「親鸞」

岩 田 文 昭 (著)

一 一二〇円

塩 谷 葉 美 (著)

柳瀬 彰 弘 (著)

一 一三〇円

獨 語 集 校 訂 版

峰屋 賢 代 (著)

一 一四〇円

蜂屋賢代「自らを深く省みて、内観」という言ひ方に
て具体的かつ丁寧に掘り下げた名著。

一 一〇〇円

大乗仏教が 妙好人の世界
ひらいた
菊 滕 明 道 (著) 妙好人を世界に知らしめた繪本人拙をはじ
め柳宗悦・補教氏などの妙好人研究の軌跡を辿り、その
靈性的世界と今日的意義を問う。
な論考。

一 四九〇円

改 版 親鸞の成仏道

一 証 (二重性と「真実証」)

小川 一香 (著) 親鸞の覚りと親鸞の真実証はどのような関
係にあるのか。覚りの本質を具体的に明らかにする本格的
な論考。

一 一〇〇円

全 編 解 説 淨 土 論 証

社会環境による苦惱解決への道
木政晴 (著) 近代教学では異なる淨土論註理解によ
て専尊信心・住還二回向の根源的意義を明らかにし現
世社会における救いの姿を描き出す!

一 一一〇〇円

六 六〇〇円

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458

法 藏 館

<https://pub.hozokan.co.jp> 新刊メール配信中!
表示価格税込 お買上16,500円(税込)以上送料無料

樹心佛地

「一人の念佛者の誕生」を願い

近年どこのお寺でもご門徒の参拝が減少している。従来は農閑期に近郷近在のご門徒宅または集会所等でお講が開かれ、仏法が語られてきた。また、朝夕どこの家からも聞こえてきた「正信偈」のお勤めの声も、この頃はめっきり少なくなってきた。

こうした真宗の麗しい宗風が失われている中で、お清め・お祓い・お礼・お守り・占い・呪いなど、おおよそ真宗には馴染まないものが増えているよう思える。
蓮如上人の御文に「当流の安心の一義とは、ただ南無阿弥陀仏の六字のこころなり。(中略)このゆえに一切の聖教というも、ただ南無阿弥陀仏の六字を信ぜしめんがためなり」(『真宗聖典 第二版』一〇〇五頁)という言葉がある。

真宗では、本当の安心というのは、お念佛を申す私になることによって得られるのだ。そしてもちろんの雑業を説くすべてのお聖教は、まさにお念佛の優れた効能を私たちに教えるためにあると説かれている。

法然上人は「廢立」という思想で浄土宗を興隆させてきた。「雑業を棄てるために説き、念佛は立てるために説く」という見解である。親鸞聖人は「雑行を棄てて本願に帰す」とい、蓮如上人は「もろもろの雑行をなげすて、一心に弥陀に帰命す」といわれた。真宗門徒でありながら、私たちは、法然上人が、親鸞聖人が、そして蓮如上人が捨てられたものを拾い、法然上人が、親鸞聖人が、そして蓮如上人が大切にいただかれたものを捨てではないだろうか。

原点に帰るべく「一人の念佛者の誕生」を願い、教団も寺院もそのためにこそあるのだということをあらためて確かめてまいりたい。

教団の動き

教学研究所

【12／2～5】全体会テーマに「真宗同朋会運動の願いに学ぶ」を掲げて、二年間に全六回の研修を実施します(二〇二七年六月頃に修了予定)。

宣誓

私たち三十名は、「教化伝道研修」第五期研修生として、本日この場に身を置いています。

私たち、この研修に参加するに当たつて、送り出してくださった方々の願いを身に受けています。

そのかけられた願いと、学びたいという自らの意欲を忘れずに、他者と共に教えを頂く仏弟子として学ぶことを、親鸞聖人の御真影の御前に誓います。

二〇二五年十二月二日
【教化伝道研修】第五期 研修生一同



聖教の学び
(龟谷亨研修長)
課題別講義
(相馬豊修会長)

三日目は、
トって報恩講
とは何か」と
か、「私たち
一人ひとりに
けがなされま
した。

三日目は、
り「聖教の学
び」の講義が行われました。今期は「歎異抄」



三日目は、
トって報恩講
とは何か」と
か、「私たち
一人ひとりに
けがなされま
した。

三日目は、
り「聖教の学
び」の講義が行われました。今期は「歎異抄」

を中心に学ぶ予定です。今回、前序にみられる「歎異の精神」を通し、聖人の信心と異なることを、一人の信心のみならず教団の問題とも重ねて「歎異抄」を確かめました。

最終日には、各講義・座談を通して見出された課題について、全体討議を行いました。

開講式後の集合写真 (御影堂前)



「教化伝道研修」第5期始まる

「宗門を担う人の誕生」を願いとする「教化伝道研修」の第五期が、十七教区から推廣された三十名の研修生を迎えて開始されました。

十二月二日、御影堂での開講式では、研修生一同は御真影の前で、他者と共に教えをいただく仏弟子として学ぶことを宣誓しました。

「教化伝道研修」は、宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌事業として始められた「教化

特別研修生制度」を継承し、これまで、第一期から第四期までが修了しています。

開講式に引き続き行われた第一回研修会は、「教化と伝道」をテーマに掲げ、初日には、第五期は、第五期に引き続き、亀谷亨研修長より「教化伝道研修の願い」と題した講義が行われました。続いて難波教行

氏(北海道教区即信寺)を道因寺より課題別講義「教化と伝道」が行

研修長として、われ、真宗大谷派の僧侶として、「私たちは

教団の動き

お知らせ

【東北教区】

保養事業及び 「子どもたちを放射能からまもろう基金」の 取り扱いについて

東北教区では、教区改編にあたり東日本大震災復興本部及び東北教区東日本大震災復興支援特別会計を設置し、東日本大震災・福島第一原子力発電所事故以降、旧仙台教区に設けられた「子どもたちを放射能からまもろう基金」を引き継ぎ、事業を行ってまいりました。

復興支援活動の一つである保養事業について、震災から15年が経過する中、福島県内の居住地域の放射線量も徐々に低下し、また当時の子どもたちも成長するなど、様々な変化がありました。これらの状況から事業の参加者も「保養」から交流の場を求めて参加される方が主となっています。

この現状を受けて、復興本部において事業の今後のあり方について協議を重ねた結果、保養事業から交流支援を主とした事業へあらためることを決定し、事業の原資としてきた「子どもたちを放射能からまもろう基金」についても、前年度末時点の保管金額20,960,550円を、その願いを包括する東北教区東日本大震災復興支援特別会計に繰り入れることといたしました。

復興本部は今後も、必要な復興支援活動と東日本大震災を継承する事業を継続してまいりますが、長年にわたり多大なるご支援を賜っている全国の皆様に、あらためて御礼を申しあげ、報告いたします。

東北教区東日本大震災復興本部

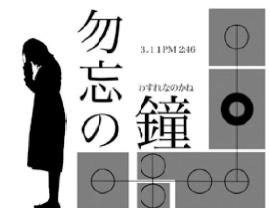


【お問い合わせ】東北教務所 (TEL : 022-297-2824)

災害救援本部より

わすれな かね 勿忘の鐘-2026-

東日本大震災を心に刻み、犠牲者に思いを馳せ、
今後も復興と支援の思いをつなぐ。



日時：2026年3月11日(水) 午後2時46分

【勿忘の鐘】



本稱寺（岩手県陸前高田市）



名古屋別院

あなたのお寺に鐘はありますか。梵鐘でも喚鐘でもいい。お内仏なら鈴でもいい。3月11日の同じ時刻に、その音に耳を傾けてください。それは鎮魂の音でも慰靈の音でもありません。私たちに靈を慰める力はないから、私たちに魂を鎮める力はないから。ただ鐘の音が消えるまでの僅かなひととき、うつろいゆく時に抗うようになじむ一瞬を共有しましょう。

東北教区では「東日本大震災を心に刻み、犠牲者を悼み、今後も復興と支援の思いを繋げていきたい」という願いのもと、震災後に土中から発見された陸前高田市本稱寺の梵鐘とともに、全国で同時刻（3月11日午後2時46分）に

鐘をつき法要を勤める呼び掛けを続けてきました。

今日、気候変動により、過去に経験したことのない大規模災害がいつ身近に起こってもおかしくない現状があります。そして、世界中で毎年のように風水害や大きな地震が発生しています。しかし、私たちはそれらを真に自らの身に起こり得ることとして受け止めているでしょうか。

あの日から15年…。あらためて呼び掛けの主旨をご賛同いただき、それぞれの今いる場所で勿忘の鐘の衆会をお勤めいただきますようご案内いたします。

東北教区東日本大震災復興本部

東北教区「勿忘の鐘」特設サイトは[こちら](http://www.touhokukyouku.jp/311/)。
あなたのお寺でも「勿忘の鐘」の衆会をお勤めいたしましょう。
<http://www.touhokukyouku.jp/311/>



※「勿忘の鐘」を開催される寺院を特設サイトにてご紹介いたします。

開催されるご寺院は、東北教務所 (TEL : 022-297-2824) または上記QRコードよりぜひご連絡ください。

月刊 同朋

まことに、お寺で1冊ご購入ください!
△ご門徒へのプレゼント、法要・行事の記念品
としてもご利用ください。

**「同朋」は生活の視点から、
浄土真宗に親しむための月刊誌です**

2月号特集 「男性」を生きることのこれから

(対談)
男性たちの特権を解体して、各々で平等を志向すること。
／周司あきら（作家、主夫）×宇治和貴（筑紫女学園大学教授）
「男だって大変だ」っていう、幼稚さから抜け出そう。
／ダブルダイナマイド（てらさわホーク（ライター）×大山くまお（ライター・編集者）

(寄稿)
男性の「生きづらさ」を問う／太田啓子（弁護士）
住職と主夫を往来する／高名等（真宗大谷派僧侶）
男性に幸福な孤独はあるか／河野真太郎（専修大学教授）
参政党的男らしさから学ぶことがあるとすれば
／福永玄弥（東京大学准教授）

巻頭インタビュー 森田真生（独立研究者）

魅力ある連載

土井善晴の「お齋の味」をたずねて
土井善晴（料理研究家）

「私」をめぐる往復書簡
谷川嘉浩（哲学者）

哲学者と僧侶
新解「地獄・極楽を読み解く」
ロバートF.ローズ（大谷大学名誉教授）

後生の大事を心にかけて
ニューヨークから開教便り
名倉幹（僧侶）

お問い合わせ

◆FAX・電話・ハガキ・メール、またはオンラインショップでお申し込みいただけます。

◆代金は、「同朋」と共に送付いたします振込用紙にて、お支払いください。

〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る
東本願寺出版「同朋」係
TEL: 075-371-9189 FAX: 075-371-9211
メール: books@higashihonganji.or.jp

●毎月1日発行 ●購読料 年間 4,400円（税込・送料込） 1冊 440円（税込・送料込）
●A4判 フルカラー60頁

2025年7月号から価格改定

教行信証（坂東本）カラー影印本 申込受付中

このたび、『坂東本 教行信証』カラー影印縮刷本（東本願寺出版）の発行に際して、宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌の記念事業として2005年に製作された、高精細カラー印刷を用いた『教行信証（坂東本）』カラー影印本（原寸大）を、あらためてお求めになる声が寄せられました。

そこで、その声にお応えして本山で大切に保管しておりました最後の30部を頒布いたします。

これが最後の機会となりますので、ぜひともお申込みください。

残10部
(12月25日現在)



受付期間：2025年10月1日から2026年6月30日まで【申込先着順】

懇志金：580,000円以上

- 申込方法：①お名前、ご住所、お電話番号をFAXまたはメールにて送信ください。なお、件名として「教行信証（坂東本）カラー影印本申込」と記載ください。
②財務部から振込先等ご案内をお送りいたします。
③振込確認後、送付いたします。

注意事項：領収書は発行いたしませんのでご了承ください。

金融機関発行の振込明細をもって領収にかえさせていただきます。

お届けまでに2ヶ月ほどお日にちをいただく場合がございますことご容赦ください。

【お問い合わせ】

〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上ル常葉町754 真宗大谷派宗務所 財務部
TEL: 075-371-9186 FAX: 075-371-9195 mail: zaimu@higashihonganji.or.jp

- (2) 駐車ステッカーは、表示内容が確認できるよう、バスの場合は車両の前面（フロントガラス）及び側面（ガラス面）に、乗用車の場合はダッシュボードに必ず貼付ください。ステッカーの掲示がない場合は駐車できません。
- (3) 駐車場では係員が誘導・整理を行います。乗降場所については、係員の指示に従ってください。

3 春の涉成園と粥膳について

「春の法要」期間中、真宗門徒が大切にしてきた「お斎」を、桜咲く涉成園で「粥膳」としてご提供いたします。

真宗本廟におそなえされたお仏供（お仏飯）のお下がりで作られた「菜の花粥」、涉成園の梅を使った梅干し等がつく本格的な粥膳です。涉成園の通常非公開の建物（閑風亭）で、庭園の春の景色を楽しみながら、ぜひお召し上がりください。

(1) 期間・時間

4月1日(水)～3日(金)

1回目11時40分～／2回目12時40分～ ※各回80名定員

(2) 会 場 涉成園（根谷邸）閑風亭

(3) 気 加 金 3,000円 ※庭園維持寄付金を含みます。（当日、会場受付でお納めください）

(4) 内 容 おかゆ・炊き物・小鉢・香の物・菓子

(5) 注意事項

- ①人数変更及びキャンセルはご予約日の前日16時までです。予めご了承ください。
- ②もれなく庭を眺望できるよう、座机にてお召し上がりいただきます。



粥膳(イメージ)

4 昼食弁当について

期間中に参拝された方々への昼食として、お弁当（1食2,000円、お茶付）をご用意いたします。会場は「しんらん交流館」または「和敬堂」（最大70席）です。

ご希望の場合は、5名からお申し込みください。なお、受け入れ人数に限りがありますので、定員になり次第締め切ります。

(1) 期 間 4月1日(水)～3日(金) 11時～13時

(2) 定 員 各回70名 ※4月1日は20名です

(3) 会 場 しんらん交流館1階すみれの間（定員20名）・和敬堂2階講義室（定員50名）

	1日(水)	2日(木)	3日(金)
しんらん交流館	○	○	○
和 敬 堂	×	○	○

(4) 料 金 2,000円 ※各団体引率責任者から当日現金にてお納めください。

（振込を希望される方は事前にご相談ください。）

(5) 注意事項

※会場は、時間・人数を調整して振り分けますのでご指定いただけません。

※申込時に会場をお伝えしますが、都合により、その後に会場を変更させていただく場合がございます。予めご了承ください。

本廟部・参拝接待所

〒600-8505 京都府京都市下京区烏丸通七条上る常葉町754番地
TEL.075-371-9210 FAX.075-371-9204

2026年「春の法要」参拝のご案内

このたび、4月1日から4月3日にかけて、2026年「春の法要」を、下記のとおり厳修いたします。つきましては、有縁の方々をお誘い合わせの上、ご参拝くださいますようご案内申しあげます。

【申込期間】 2026年2月1日(日)午前9時から3月13日(金)午後5時まで

※受付は各日午前9時から午後5時までです。

※粥膳・お弁当（次頁参照）を申し込む場合、食数に限りがありますのでお早めにご連絡ください。定員になり次第締め切ります。

【申込期間】 下記のいずれかの方法で本廟部参拝接待所へ直接お申し込みください。

【TEL】 申込要項の内容をお伝えください。

【FAX】 宗派ウェブサイトより申込書をダウンロードしてご利用ください。

【WEB】 宗派ウェブサイトの特設フォームでお申し込みください。

お申し込みフォームはこちら▶



※参拝のお申し込みをいただきました団体または個人には、春の法要参拝の記念品をご用意いたしますので、公共交通機関でお越しの方や少人数の方、お一人からでもぜひお申し込みください。

※バス・乗用車の駐車をご希望される場合は必ずお申し込みが必要となります。

【参拝申込要項】

1 申し込みに際して

(1) 申し込み時にお知らせいただく必要な事項

- ①参拝日 ②参拝される法要（〔例〕日中） ③到着時刻・出発時刻 ④団体・個人名称
- ⑤引率責任者氏名・連絡先電話番号 ⑥参拝人数 ⑦粥膳申込の有無 ⑧お弁当申込の有無 ⑨帰散式受式の有無 ⑩涉成園参観の有無 ⑪交通手段（バス・乗用車台数） ⑫大谷祖廟参拝の有無

(2) 申し込み後に、到着・出発時刻、参拝人数、バス・乗用車駐車等に変更が生じた場合は、必ず本廟部参拝接待所にご連絡ください。

(3) 3月中旬を目途に、引率責任者へ案内状・参拝確認書・駐車ステッカー等を送付いたします。※申し込み期間後に変更された内容については参拝確認書に反映されませんので、ご承知おきください。

2 バス・乗用車の駐車について

- (1) 団体・個人参拝申し込みをされたバス・乗用車のみ、指定場所に駐車できます。駐車を希望する場合は必ず申し込みをしてください。また、申し込まれた団体・個人には駐車ステッカーを送付します。

本廟部 式務所
〒600-8505 京都府京都市下京区烏丸通七条上る常葉町754番地
TEL.075-371-9188 FAX.075-371-9205

春の法要出仕要項

春の法要に出仕を希望される方は、下記要項をご参照の上、別紙出仕願をご提出ください。

1 出仕願について

- (1) 出仕を希望される方は、本誌巻末縦じ込み、もしくは右記よりダウンロードいただいた出仕願を所轄の教務所を経由して本廟部（式務所）に提出してください〔3月1日（日）必着〕。なお、願書が不足の場合は最寄りの教務所へお問い合わせください。
- (2) 法賜加算のための出仕証明が必要な方は「有」に○を、必要のない方は「無」に○をしてください。
- (3) 法賜加算申請のための出仕証明書は、予定されている出仕の最後にご本人に手交いたしますので、必ずお受け取りの上お帰りください。

2 出仕について

- (1) 改着場所 男性：式務所1階南大広間 女性：式務所1階北小間
※改着場所にて装束着用後、出仕控室（2階北大広間）で出仕点検を受けてください。
- (2) 刻限・集合時刻・装束

	法要名称	法要刻限	集合時刻	装束
4月1日	師徳奉説法要	10時	9時	裳附・五条袈裟・差貫
	親鸞聖人御誕生会 (音楽法要)	14時	13時	
2日	全戦没者追弔法会	10時	9時	
3日	相続講員物故者追弔会兼 帰敬式受式物故者追弔会	11時	10時	

※4月1日から3日までの晨朝への出仕は法賜加算対象にはなりませんが、別紙出仕願に記載ください。

	法要名称	法要刻限	集合時刻	装束
4月1日～3日	晨朝	7時	6時	直綴・五条袈裟

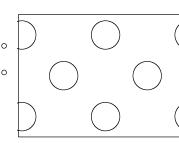
3 装束について 出仕の際には、下記制限をご留意いただき、正規のものをご準備ください。

《五条袈裟について》

- ①地合は、堅地、綾地及び平織とする。
- ②色目は、崩黄、紫、その他許可された色（正銀色、長春色など）一色とする。
- ③文様は、無地とする。ただし、金入に限り、平金一色を用いることができる。
- ④紋径は、7種（センチメートル）乃至9種とする。
- ⑤2種類以上の紋を使用することはできない。
- ⑥紋を重ねたり、連続紋とすることはできない。また、いわゆる釜抜、
一つ釜抜、居並びとすることはできない。ただし、褒賞衣体を除く。
- ⑦別に許可せられたものは、小紋と/orすることができる。この場合、八藤紋に限ることとし、④の制限を除く。
- ⑧寺紋・家紋は、紋白に限る。

《白服・白足袋等》

- ①白服は、皆白のこと。輪子、唐輪子、縮纈等は着用できない。
- ②白襪又は白足袋着用のこと。ただし、足袋は小鉤のあるものに限る。
- ③帯は、白帯に限る。



釜抜（一ツ抜）

4 法賜加算手続きについて

法賜加算を受けるためには、出仕願（裏面）の要項をご参照の上、別途教務所へ申請ください。

5 その他

- (1) 期間中は、自家用車の境内での駐車はできません。
- (2) ご不明な点は、教務所までお問い合わせください。

5 彌敬式について

- (1) 弥敬式は、1日の師徳奉説法要後、2日の全戦没者追弔法会記念講演後、御影堂において執行されます。3日の相続講員物故者追弔会兼彌敬式受式物故者追弔会後は、御影堂において大谷暢裕門首により執行されます。
- (2) 住職選定法名及び団体による受式については、「弥敬式受式者届」を受式日の1ヵ月前までに直接、本廟部参拝接待所へご提出ください。
- (3) 受式当日、本廟部参拝接待所で、1日・2日は9時30分まで、3日は10時10分までに受付をお済ませください。

6 注意事項

- (1) 各法要の開式時間にご留意ください。
- (2) 参拝時に体調を崩された場合は、お近くのスタッフにお声がけください。
- (3) 法要中の写真や動画の撮影はご遠慮ください。
- (4) 時間に余裕を持った計画を立てられるようお願いいたします。
- (5) 参拝の際には、ご門徒に肩衣（脇肩衣・略肩衣）を着用いただくよう奨励ください。
- (6) 真宗本廟収骨・永代経・御影堂読経はお取り扱いがありません。
※参拝接待所（地下仏間）での読経はお取り扱いがあります。
- (7) 法要期間中、団体参拝等での両堂・諸殿のご案内はできません。
- (8) 法要途中での退席はなさらないようお願いします。
- (9) 渉成園にもぜひご参観ください。（4月の参觀時間は9時～17時 ※16時30分受付終了）

【お問い合わせ】 本廟部参拝接待所 TEL:075-371-9210（9時～17時） FAX:075-371-9204
Email : honbyo@higashihonganji.or.jp

真宗大谷派ウェブサイト <https://www.higashihonganji.or.jp/>

渉成園のご案内

四季折々に美しさを見せる渉成園。
春の法要の季節には園内に咲きほこる
桜をご覧いただけます。

御正忌報恩講のご参拝とあわせて、
渉成園にもぜひご参観ください。



渉成園について、詳しくはこちらをご覧ください→



渉成園Instagram→



それそれに色々な世界があります。それでも、同じ一つの世界を生きているんです。色々な人と出会うと、自分の見てる世界だけでなく他の人が見ている世界によつて、どんどん世界が豊かになつていくんです。

人は自分の色で世界を見ています。例えば僕が赤色でこの世界を見ているとします。そうすると赤い色のものは見えません。でも、もう一人別のが緑色で見るとしたら、緑の光によつて、自分が見えなかつた赤い色が見えてくるでしょ。もつと違う人が見たら、その人の色の光で自分に見えなかつた世界がどんどん現れてくるでしょ。そうすると世界はどんどん豊かになり、どんどん綺麗になつっていく。お淨土というのは、とても綺麗な世界なんです。それは色々な「いのち」の光によつて世界が映し出されることで、世界そのもの

「生きている」と知ることは、本当は喜びなんです。生きていることを知らないで生きていると、後に何も残らないから疲れるだけで虚しくなります。でも、生きていることを知ると、きちんとした跡が残ります。例えば絵を描くのが好きな人だったら、自分の思いを一生懸命描いた絵ができると、その絵と自分が一つになつて、私は生きていると感じます。その時に、絵を上手に描く必要は全くありません。今は絵を描いたら上手か下手かといつて評価されてしまうから、絵が嫌いになります。そのまましまう子が多いようです。上手な子は、もつと上手に描かなくちゃいけないと想い、自分の描きたいことが描けなくなつてしまつ。自分の描きたいものを描きたいようには描くのが絵です。でも、描きたがるように描こうと思つてもなかなか

らって、比べて、自分の方が上手だ
ろうと思うから、生きていることから
離れていくのです。仕事もそうで
す。とりあえず給料がいいからとい
う形で仕事を選んでしまうと、一生
を台無しにします。もちろん食べて
いけないと困るので、ある程度お金で動
かいるかもしれない。でも、それ以
上に自分が働くことは自分の人生そ
のものを表現するためだから、なん
でもかんでもお金にしたらあかんの
です。

人の心だってお金にはなりません
だから、お金では動かないはずな
に、人の心じゃなくなればお金で動
くのです。今、みんながお金で動い
ているのは、人の心をなくしている
からです。そういう時代を生きてい
くのは本当に大変だと思うけども
どんなに大変な時代でも、自分が生
きていることだけは誰も奪うことが

生きていることは悩みに変わらなければなりません。そうやって生きていることを喜べるようになつていくと、世界は変わるものだと思います。子どもたちには、もっと楽しく生きられるはずです。

大人になることは一人になることです。一人になることは怖いけれども、一人になるということは自分の世界を造つていくことです。これは素晴らしいことです。新しく自分が自分として生きていく世界ができるいくのですから。それを自分で造つていくことができるのですから。その素晴らしさを忘れないければ、目の前にあらわれてくる色々なことをきちんと受け止めで生きていけるようになるんだと、僕はそう思っています。

児童教化のページ

シリーズ 真宗大谷派における児童教化
一子どもたちとともに、今までそしてこれからも一

- い 一、私たちは、仮の子どもになります。
一、私たちは、正しいおしえをききます
二、私たちは、みんな仲よくいたします

大谷派兒童教化連盟

597

いと確かなものだと思えなくなつて
います。その結果とは目に見えるも
のだけです。けれど、目に見えない
確かなものがいるのです。そのため
には結果ではなくて、自分が生きて
いることと何かしていることが一緒に
にならなければなりません。生きて
いることとすることが一緒になるこ
とがあるのです。

生きることとすることが一緒にな
った時の感覚は楽しい。楽しいと面
白いということは違います。面白い
は目の前にあるもの、楽しいは自分
の心の中にあるものです。だから、
目の前にあるものに心が移つて自分
から心がなくなった時に面白いと言
います。楽しい時は自分の心の中に
楽しさが残ります。

でも、楽しさだけでなく悲しみも
自分の中にはあります。楽しいとか悲
しいとか悲しみも

心は、全部「いのち」と一つになつていている感情です。その心を大切にしていくと、その「いのち」と一緒に経験していることが、くり返し自分での中に起こり続けていく。その感覚を忘れないれば、生きていることが喜びに変わります。

仏教はその喜びによって、生きることが楽しいということを教えていきます。苦しくても悲しくても、生きることは楽しいということです。

お淨土のことを極楽といいます。

「極」は究極の、「樂」は楽しい、これ以上ない楽しみのことを極楽といいます。極楽に行ったらさぞかし面白いというようなことは何一つもなっても、なぜ樂しいのかといったらみんなが生きていることを喜んでいるからです。その喜びの中で出会うことができるから樂しいのです。幸

るかもしれません。中には早くお父さんやお母さんを亡くした人がいるかもしれません。別れは悲しいけれども、人生にはそういう別れが必ずあります。でもそこに「いいのち」の出会いがあれば、それは喜びに変わるのでです。そういう「いいのち」と一緒に喜びを知った時に、人間が人間として生きられるようになるということを親鸞聖人が教えてくれています。

喜びのないところでは、人間は人間にになれません。人間でなくなると競争に勝つことが一番嬉しくなる勝ち負けの世界を生きていくことになってしまいます。勝ち負けの世界がどんどん広がっていくと、国と国との戦いになり戦争になってしまいます。勝ち負けにならなければ戦争ではなくなりません。どんな人生であっても、人生にはそういう別れがあります。

2025年8月1日から4日にかけて、第35回同朋ジニア大会（テーマ：「正義×正義」）が開催されました。前回に引き続き、講師の梶原敬一氏のおはなし（要旨）を掲載します。

いこともいっぱいあるけど、辛くても生きていることをみんなが喜んでいると、そこで出会う時には「いい感じ」が本当の意味で喜ぶからです。いくら面白いところで集まつても

Be Real 寄りそう知性 大谷大学

JR京都駅から 約13分 ▶ 北大路駅 徒歩0分!
地下鉄烏丸線にて

文学部

- 仏教学科
- 現代仏教コース
- 仏教思想コース
- 真宗学科
- 思想探究コース
- 現代藝術コース
- 国際コース

社会学部

- 歴史学科
- 日本史コース
- 世界史コース
- 政治ミージアムコース
- 現代社会学科
- 現代社会学コース
- 京都探求コース
- 西洋哲学・日本思想コース New
- 心理学・人間関係学コース
- 倫理学・社会思想コース New
- 宗教学・死生学コース

教育学部

- 教育学科
- 初等教育コース
- 小数教育専攻 New
- 幼児教育コース
- 文科系
- 言語文化コース New
- 現代文芸コース

国際学部

- 国際文化学科
- 英語コミュニケーションコース
- 欧米文化コース
- 韓国・朝鮮文化コース New
- 中国文化コース New
- 京都文化学科 New

※2027年4月開設予定(仮称)、設置構想中。計画は予定であり、変更することがあります。

2026年度 大谷大学入学試験

一般入試[第2期] 2月4日(水)出願開始!

出願期間 2月4日(水)～2月18日(水)
※締切日消印有効

試験日 2月26日(木)・2月27日(金)

合格発表日 3月5日(木)

一般入試[第2期]のポイント!

- 1回の受験で学部を問わず2学科(教育学部は各コースを学科とみなす)まで併願できます
- 複数日程受験の場合、各教科それぞれの最高点の合計点で判定します(ハイスクア方式)
- 京都(本学試験場)以外に彦根、大阪にも学外試験場を設置します

入学試験の詳細や
資料請求はこちらから▶

〒603-8143京都市北区小山上総町 入学センター 大谷大学 E-mail:nyushi-c@sec.otani.ac.jp

大学HPはこちらからご覧になれます▶

念珠 販賣

東本願寺前

念珠かけた帰命の姿尊かり

昔から良品安価で御信用いただいて居る

整店は真宗正式念珠を代々伝承製作の老舗

結御法御 婚披要儀 祝露記式 用用念用

内仏打敷、中啓

内仏打敷、中啓

FAX ○七五三七一三五六番

電話 ○七五三五二一三三六番

〒六〇一至京都市下京区下珠数屋町通烏丸東入

若松英輔氏 推薦

東本願寺出版

北川与三兵衛商店

民藝 他力の美 太田浩史著

民藝とゆかりの深い富山県南砺市に生まれ育った太田浩史氏が、柳宗悦をはじめ民藝運動に参加した様々なな人物のエピソードも交えた29のエッセイで、「他力の美」である民藝の世界を案内する一冊。

A5変形判／オールカラー・96頁 定価：2,200円(税込)

当派の寺院・教会からのご注文は2割引となります。

詳しい書籍情報・試し読みは 東本願寺出版 検索

東本願寺出版
TEL.075-371-9189 FAX.075-371-9211

愛知県 長泉寺様
本堂屋根改修工事(チタンカナメ段付本瓦葺き)

想いを匠技でかたちにする

カナメの社寺建築

株式会社 カナメ

社寺新築・改修工事
チタン屋根 / 地震台風対策
太陽光発電など

本 社
栃木県宇都宮市平出工業団地38-52
TEL.028-663-6300
名古屋支店
TEL.0586-71-2882
岡山支店
TEL.086-245-2541

受賞作品
「カナメ日本大賞受賞
「チタンカナメ段付本瓦葺き」

GOOD DESIGN
カナメ チタン段付本瓦葺き

SUSTAINABLE GOALS

無料でお見積もりいたします

刺繡打敷の修復

だからできる 和光舎

今しかできない 職人技

年平均160枚の刺繡打敷修理の実績

株式会社 和光舎
TEL 612-8081 京都市伏見区新町三丁目487
TEL 075-612-7988 FAX 075-612-5760
お問い合わせは 御法衣・御袈裟・打敷などの丸洗い、修理、リフォーム
0120-45-4435
<http://www.wakohsha.com> [法衣 クリーニング]

新案 須弥盛 (オリジナル商品)

新案須弥盛の特徴

「新案須弥盛」は、お華東を須弥型や杉盛に盛るための仏具です。「新案須弥盛」は芯棒を中心に食品サンプルと同じ素材で出来た餅板を重ねて出来ていますので、間にお餅を挟んだりしても違和感がありません。どこの部分までを仏具として使用されても、そのすべての使い方に対応出来るように設計されております。

「新案 須弥盛」の詳細は「京仏具犬塚ホームページ」でどうぞ

御詠えの京仏具を真心こめてつくる店 〒600-8150 京都市下京区東洞院通上珠数屋町角 075-351-6553 FAX 075-341-0414
御連絡はフリーダイヤル 0120-20-6553 でどうぞ

京仏具 大 塚

同朋大学 ~共なるいのちを生きる~

2026年度 入学者選抜試験日程

<文学部・社会福祉学部>

選抜試験	出願期間	試験日	合格発表
一般選抜 1期(C方式)	1月14日(水)～2月2日(月) [消印有効] (窓口受付:2月3日(火) 10:00～16:00)	2月7日(土)	2月13日(金)
一般選抜 2期	2月2日(月)～2月17日(火) [消印有効] (窓口受付:2月18日(水) 10:00～16:00)	2月21日(土)	2月27日(金)
一般選抜 3期	2月9日(月)～3月10日(火) [消印有効] (窓口受付:3月11日(水) 10:00～16:00)	3月14日(土)	3月17日(火)
大学入学共通テスト利用選抜(中期・後期)	2月2日(月)～2月17日(火) [消印有効] (窓口受付:2月18日(水) 10:00～16:00)	大学入学共通テストの得点のみで判定	2月27日(金)
	2月24日(火)～3月10日(火) [消印有効] (窓口受付:3月11日(水) 10:00～16:00)		3月17日(火)

<別科 仏教専修>

選抜試験	出願期間	試験日	合格発表
別科選抜2期	2月9日(月)～3月4日(水) [消印有効] (窓口受付:3月5日(木) 10:00～16:00)	3月14日(土)	3月17日(火)

<人間学研究科 仏教人間学専攻【仏教文化分野 博士前期課程】/人間福祉分野 博士前期課程>

選抜試験	出願期間	試験日	合格発表
大学院選抜2期	1月14日(水)～1月28日(水) [消印有効] (窓口受付:1月29日(木) 10:00～16:00)	2月7日(土)	2月13日(金)
大学院選抜3期 ※	2月20日(金)～3月4日(水) [消印有効] (窓口受付:3月5日(木) 10:00～16:00)	3月14日(土)	3月17日(火)

※仏教文化分野、人間福祉分野のみ。入試状況により、臨床心理分野も3期を実施する場合があります。

2025年度 同朋フォーラム兼同窓会 第40回文化講演会

講題 イルカとパンダの子育てにみる人間の社会性発達のヒント

講演 13:40～ 熊川 智子氏 **日時 2026年2月15日(日)** **入場料 無料**
(アドベンチャーワールド飼育員) 13:30～15:30 (13:00受付開始)

14:25～ 森 唯友氏 **会場 同朋大学 成徳館5階 J502教室**
(南知多ビーチランド飼育員)

参加申込: WEBフォーム (<https://forms.gle/CgHDBdOkpNggmJXP9>) 電話(052-411-1491) メール(fukushi1@doho.ac.jp)

同朋大学

TEL:052-411-1247
FAX:052-411-4124
E-MAIL:nyushi@doho.ac.jp
〒453-8540 名古屋市中村区福葉地町7-1 WEB:<https://www.doho.ac.jp/>

■文学部
仏教学科／人文学科

■社会福祉学部
社会福祉学科
心理学専攻／社会福祉専攻／
子ども学専攻

■大学院
人間学研究科 仏教人間学専攻
仏教文化分野／人間福祉分野／臨床心理分野

■別科
仏教専修

名古屋真宗学院生募集要項	
目的	親鸞聖人が開闢された浄土真宗の教えに基づき、仏祖崇敬の念をもって教法を聞思し、儀式執行の行儀を修得して、本派の教師たるにふさわしい人材を養成することを目的とする。
履修期間	3年間
開院期間	前期 2026年5月7日(木)～6月24日(水) 7週35日間 後期 2026年10月5日(月)～26日(月) 3週15日間 ※ただし、7月4日(土)～5日(日)・9月26日(土)～27日(日)に一泊研修会を実施の予定 18時～21時(土・日・祝日は休院日)
受験資格	高等学校卒業、または高等学校卒業と同等の学力を有すると認められた者
出願期間	2026年3月2日(月)～3月31日(火) 祝日を除く
入学試験	筆記試験(国語・社会に関する問題)・面接(再面接も有)
入学料金	入学金5万円、研修費4万円／年 授業料1年生12万円・ 2年生14万円・3年生14万円・施設設備費3万円(教区外のみ)／年
お問い合わせ・資料請求先	〒460-0016 愛知県名古屋市中区橘2丁目8番55号 真宗大谷派名古屋教務所内 名古屋真宗学院事務局 FAXTEL 052-321-5845 E-mail nagoya@nigashishoninji.or.jp

目的	現代社会は、われわれ人間のあくなき欲望により、さまざまな問題を露呈しております。それらの問題の根には、いのちを自分のものとして了解するという、現代人の間が横たわっています。宗門の課題は、「親鸞聖人の教えによって、その間が照らし出され、懶惰と報恩のところ、すなむち無阿弥陀仏ないのちを取りもどし、如來の本願の教えを生きる人間を生みだすこと」です。本学院は、このような課題を背負つて、次代を生きんとする真宗大谷派教師の養成を目的としております。それは、無寿なるいのちに川せぬ、無量寿なるいのちに生きんとする「求道の人」を生みだすこと」であります。
修業年限	3年間
授業時間	月平均10日間 18時～20時 土曜日・日曜日・祝日は原則として休講
出願資格	高等学校卒業またはこれと同等以上の学力を有すると認められる者
募集定員	20名程度
提出書類	①入学願書(所定用紙・消えるボールペン不可)②最終学校卒業証明書または在学証明書・卒業証書のコピー(1枚不可)③レポート(金沢真宗書院入学にあたってのわたしの願い)字数800字程度④受験料1万円
出願期間	2026年3月2日(月)～3月31日(火)(平日9時～17時、土・日・祝日を除く)
入学考査	2026年4月9日(木)【考査内容は面接です】
合格発表	後日、本人へ直接通知します。
聽講生制度	本科生の他に、貞宗の学習を希望する方々の制度です。
聽講期間	1年間(原則として、第1学年からとなります)
募集人員	若干名
申込手続	(1) 提出書類 ② 出願期間 (平日9時～17時、土・日・祝日を除く) 2026年4月9日(木) (2) 接続 2026年4月9日(木) (3) 許可通知 後日、本人へ直接通知します。
お問い合わせ・資料請求先	〒920-0854 石川県金沢市安町15番55号 真宗大谷派金沢教務所内 金沢真宗学院事務所 FAXTEL 076-265-5191 E-mail kanazawa@nigashishoninji.or.jp

お知らせ 第60回「京の冬の旅」大寝殿・宮御殿・鐘楼 特別公開

毎年冬に開催される京都市・京都市観光協会主催のキャンペーン「京の冬の旅」において、「大寝殿」「宮御殿」を僧侶が案内します。また、修復後初めて鐘楼の見学も実施します。この機会にぜひご参拝ください。

◆「大寝殿」「宮御殿」「鐘楼」特別公開

期間 2026年1月9日(金)～3月18日(水) 毎週水曜～土曜
※1月15日・24日、2月5日・12日・21日・27日、3月4日・6日・12日は休止

時間 各日9時～(1日1回・所要時間約80分～90分)

料金 2,700円
※事前予約制(予約は「京の冬の旅」特設サイトにて)

詳細・予約は「京の冬の旅」特設サイトをご覧ください→

宮御殿 冬の間

鐘楼

2026年度 募集コース		
	年間40日程度通学 土曜コース※2	夏期に30日間程度通学 夏期集中コース
修業年限	3年	4年
期間	4月25日(土) ～3月頃	8月17日(月) ～9月13日(日)
授業時間	10:30～14:30	9:00～14:30
授業形態	各学年別授業	4年合同の授業※1
上山研修	8月29日(土)～31日(月)	
募集人数	30人程度	10人程度

お問い合わせ・所定用紙請求先 〒503-0897 岐阜県大垣市伝馬町11番地
真宗大谷派大垣教務所内 大垣真宗学院事務局
TEL 0584-78-3363 FAX 0584-78-3353 E-mail ogaki@nigashishoninji.or.jp

出願書類

出願資格 高等学校卒業またはこれと同等の学力を有すると認められた者

出願期間 夏期集中コース 2026年3月2日(月)～4月16日(木) 16時
土曜コース 2026年3月2日(月)～4月9日(木) 16時

入試料 小論文・入試面接(試験会場は大垣真宗学院)

入試費用 2万円(入試当日にご持参ください)
夏期集中コース 入学金10万円(入学年度)／年間授業料9万円
夏期集中コース 入学金10万円(入学年度)／年間授業料9千円(大垣教区以外の方は万8千円)
夏期集中コース 入学金10万円(入学年度)／年間授業料11万円／年間施設教材費1万2千円(大垣教区外の方は2万4千円)
※授業に必要な書籍・教師修練・補助にかかる費用が別途かかります。

自的 本学院の教育は、大谷派教師資格取得を縁として、教区内寺族を中心とした指導陣とともに、眞の教師たる信心の行人たんことを目指して行う。

※1 夏期集中コースは、1年生から4年生合同で交流を深めながら講義を受けます。各学年別の授業ではありません。

※2 土曜コースの募集は3年ごとにあります。規定の定員に達しなかった場合、開講しないこともありますので、ご了承ください。

第26回 非戦・平和沖縄研修会 募集要項

沖縄戦後のあゆみ

～米軍統治下から今なお続く沖縄の苦悩～

戦後80年の節目の年が過ぎましたが、沖縄では戦後も米軍統治下で事件が絶え間なく続きました。本年は戦後81年となります。戦後沖縄で起きた事件はいずれもこれから「80年目」を迎えていきます。2025年に公開された映画『宝島』は戦後の米軍統治下の沖縄で起きた事件・事故の中で、米軍と日本に抑圧され続ける中で生きた人々の葛藤が描かれています。

米軍統治下であった1945年から1972年までの27年間、幾多の米軍による犯罪がありました。沖縄の日本復帰から2021年までの約50年間で米軍関係者の犯罪は6,109件にのぼり、うち凶悪犯は584件発生しています。そして2025年現在、それは絶え間なく起こっており、日々、書類送検や有罪判決が報道されています。特に性犯罪の発生が顕著であり、2024年7月、米兵による16歳未満の少女に対する拉致暴行事件を受け、沖縄別院では「米兵による女性への暴行事件に抗議します」との抗議声明を出しました。事件・事故が起きたたびに米軍は再発防止策などを約束しますが一向に改善される気配がなく、不信感をぬぐえません。

映画『宝島』の作中で、米軍の悪政と横暴に耐えきれなくなった者が、米軍に対して暴力に訴えようとするシーン。主人公の「そんなことでも変わらない」との呼びかけに「こうでもしなければ変わらない」と叫び返すあの葛藤は、今なおつづく沖縄の苦悩する心を表しているように思います。

今回は、戦後沖縄の歴史を学び、映画でも取り上げられている事件・事故の現場をフィールドワークします。

「日本を取り巻く安全保障の厳しさ」という一言で、日米の軍備が強化され続けている沖縄で、淨土を拠り所として生きる者として歩みが問われてきます。本研修会を通して、沖縄の戦後の歴史から、一人ひとりがそれぞれに課題をいただき、歩みとなることを期して開催します。皆様のご参加お待ちしております。

1 期 間	2026年4月14日(火)～16日(木)
2 会 場	那覇セントラルホテル（〒900-0013沖縄県那覇市牧志2-16-36）、沖縄本島各地
3 講 師	野添 文彬 氏（沖縄国際大学教授）
4 参 加 費	5,000円 ※会場までの往復旅費と宿泊費は全額自己負担となります。参加確定後、各自手配・購入ください。
5 募集人員	30名※定員に達し次第、締め切ります。
6 申込方法	申込用紙に必要事項を記入の上、沖縄開教本部までお申し込みください。 ※申込用紙は沖縄開教本部または最寄りの教務所にお問い合わせいただくか、宗派公式ウェブサイトからダウンロードいただけます。
7 申込締切	2026年4月6日(月)までに沖縄開教本部必着のこと(FAX可)
8 申込先	沖縄開教本部（〒901-2223 沖縄県宜野湾市大山2-32-21) TEL:098-890-2490 FAX:098-890-2491 Email:okinawa@higashihonganji.or.jp
9 その他の	参加申込者へは、追って詳細をお送りします。

〔注意〕旅行手配の前に、必ず参加申し込みが締め切られていないかご確認ください。

— 台 窗 —

			▶諸研修
			(25・12月) ▲
	研修・会議名		
住職	「教化伝道研修」第5期第1回研修会		
2025年度下半期教師修練スタッフ事前研修会			
計3団体	研修部	相当部	
97名	31 26 40	人數	
	12 12 12 22 11 2 23 13 5	期間	

(19)

江戸時代から続く信仰の歴史に参加してみませんか？

「蓮如上人御影道中」自主参加者募集

～真宗本廟と吉崎別院の間を蓮如上人の御影のお供として歩く御仏事～



蓮如上人による北陸教化のご苦労とその徳を偲ぶ「蓮如上人御忌法要」が、毎年4月23日から5月2日まで、吉崎別院で勤まります。

法要にあたっては、真宗本廟から蓮如上人の御影を御輿に乗せ、上人が歩いたとされる道のりを徒歩で7日間かけ、琵琶湖を西回りで吉崎別院まで旅をします。法要が勤まつた後、今度は東回りで8日間かけて、御影は京都に帰ってこられます。この道のりを「蓮如上人御影道中」と呼んでいます。

寺院や門徒宅といった会所に立ち寄り、隨行教導による法話を聞きながら歩む道中では、お参りの方が花をそなえたり、農作業の手を止めて合掌し、念仏される姿も見られます。こうして蓮如上人御影道中は、真宗本廟と上人御教化の地・吉崎をつなぐ大切な御仏事として、江戸時代より今日まで毎年絶えることなく受け継がれています。

京都・吉崎間の長い道のり、険しい坂道や峠も通るため、多くの方にお供としてご参画いただくことが必要です。「動く道場」ともいわれる御仏事としての御影道中に、ぜひご参加ください。

【申込方法】

事前に「自主参加申込書」を吉崎別院に提出してください。後日、御影道中協力会より確認の連絡があります。「自主参加申込書」は、吉崎別院のホームページからダウンロードいただけます。

【参加費用】 ※出発（参加）当日に担当者へお支払いください。

◆全行程参加：御下向（京都→吉崎）50,000円／御上洛（吉崎→京都）60,000円
(宿泊費・食事代・サポート懇意金含む)

◆区間参加：一泊9,000円（夕・朝食付）、昼食代1,000円
サポート懇意金（保険含む）1日1,000円

※宿泊・昼食・サポート（保険付加）をご希望の方は、必ず事前にお申し込みください。

1日のみ
の参加も
可能！

【参加にあたっての諸注意】

①宿泊は、20人を目安にしています。人員が目安を超える際は、話し合いをさせていただきます。
②宿泊は、大広間や本堂で全員一緒に宿泊する場所もあります。

③道中はあくまでも「御仏事」です。ハイキングやレクリエーションではありません。観光での参加はお断りさせていただいております。

④持病のある方は、申込時に必ず申請をしてください。なお、症状によっては参加をお断りする場合もありますのでご了承ください。

⑤道中は時速5km前後の速さで歩きます。十分に歩く訓練をなさってご参加ください。

⑥道中は過酷で、車の交通量が非常に多い区間もあります。区間毎の参加も受け付けておりますので、お身体と十分に相談のうえ、ご参加くださいますようお願い申しあげます。

その他詳細・注意事項は、吉崎別院ホームページ等でご確認ください。

申込締切
御下向：2026年3月31日(火)
御上洛：2026年4月10日(金)
「自主参加申込書」吉崎別院必着

「御影道中」参加に関するお問い合わせ
真宗大谷派 吉崎別院
TEL: 0776-75-1904 (受付時間 8時30分～16時30分)

(16)

蓮如さんゆかりの吉崎別院での『御文』講習会 参加者募集



蓮如上人ゆかりの吉崎別院を会場に『御文』の読み方の講習会を開催します。講習会では吉崎御坊と蓮如上人や『御文』について学ぶ講義の時間もあり、「御文」や蓮如上人、吉崎御坊について往時を偲びながら学ぶことができます。読法の講師は本廟部堂衆が勤めます。

また、日程2日目には蓮如上人御祥月の法要（廿五日講）にもご参拝いただけます。ぜひ、ご参加ください。

1 開催日 2026年3月24日(火)～25日(水) ※24日のみの参加も可

2 会場 吉崎別院 (〒922-0679 福井県あわら市吉崎1丁目301)

※新幹線・在来線の芦原温泉駅から「あわらぐるっとタクシー」を利用すると吉崎別院最寄りの「道の駅 蓮如の里あわら」まで600円でタクシーが利用できます。



3 対象 真宗大谷派の門徒・僧侶

4 定員 20名

5 参加費 13,000円（1泊2食付き） ※当日現金でお支払いください
※24日のみの参加（宿泊・夕食なし）の場合6,000円となります

6 日程 (予定)

3月24日		3月25日	
13時30分	受付	7時30分	お朝事・朝食
14時	開会	8時30分	吉崎御坊周辺フィールドワーク
14時15分	蓮如上人や『御文』に関する講義	10時	法要・法話
15時15分	休憩	12時	終了
15時30分	『御文』読法講義・実技指導		
17時30分	終了		
18時	夕食		

7 講師 【蓮如上人や『御文』に関する講義】

出雲路修氏（元龍谷大学教授・小松大聖寺教区毫摺寺前住職）

【『御文』読法講義・実技指導】

多田 隼氏（本廟部堂衆）

8 持ち物

念珠、筆記用具、真宗大谷派勤行集（赤本）、宿泊に必要なもの

※吉崎別院にはタオル・歯ブラシ・寝巻等の備えはありません。

（ドライヤー・シャンプー・ボディソープのみ設置）

僧籍をお持ちの方：間衣、輪袈裟、『御文撰読作法稽古本』（東本願寺出版）

僧籍をお持ちでない方：略肩衣（お持ちの方）、『御文』（普段お内仏でお読みいただいているものなど、ご用意いただけるものをお持ちください）

9 申込方法

2026年3月17日(火)までに真宗大谷派吉崎別院（TEL: 0776-75-1904）へお電話いただきか、以下の案内ページ内のお申し込みフォームからお申し込みください。

※定員に達し次第締め切らせていただきます。詳しくはこちらをご覧ください



【お問い合わせ】真宗大谷派吉崎別院（福井県あわら市吉崎1丁目301）TEL: 0776-75-1904

(17)

組織部
〒600-8505 京都府京都市下京区烏丸通七条上る常葉町754番地
TEL.075-371-9187 FAX.075-371-9194

第14回世界同朋大会のご案内

第14回世界同朋大会は、開教区における宗祖親鸞聖人の御誕生850年と立教開宗800年の慶讃法要お待ち受け大会を兼ねて開催し、「南無阿弥陀仏 一人と生まれたことの意味をたずねていこう」をテーマに掲げています。

特に南米開教区・ブラジルを開催地とするこの大会は、「仏教東漸」の理のごとく、淨土真宗が遙か海を越え、パラグアイやアルゼンチンを含む南米の地に根付き、花開いてきた証を確かめる場でもあります。

また、サブテーマを「同朋（ポン・アミーゴ）—多様性を生きる—」として、異なる言語、文化をはじめ、性別、年齢、価値観、能力など、多様な個性や背景をもつ私たちが、それぞれの違いを尊重しながら、ともにお念仏の大地に立つ「同朋」であることを、語らいと交流を通じて確かめています。

■大会期間：2026年8月29日(土)～30日(日)

■会場：ブラジル連邦共和国パラナ州〈南米開教区〉
レカントカタラタス テルマス リゾート エ コンベンション

■テーマ：南無阿弥陀仏
一人と生まれたことの意味をたずねていこう

■サブテーマ：同朋（ポン・アミーゴ）—多様性を生きる—

■講師：マイケル・コンウェイ氏（大谷大学准教授）

■定員：200名（日本参加者80名、海外開教区参加者120名）

■参加費：30,000円（旅行代金は別途）



大会日程

8月29日 (土)	
9:30	海外開教区慶讃法要お待ち受け大会（開会式）
11:00	お待ち受け大会記念講演
14:00	各開教区からの提言
15:30	グループディスカッション
17:30	晚餐会（各開教区出し物）

8月30日 (日)	
9:30	おあさじ
10:30	講義
11:30	閉会式

※日程は変更する場合があります

第14回世界同朋大会への参加にあたって、ツアーを企画しましたので是非ご参加ください！

【Aコース（10日間）】エミレーツ航空で行く 世界が憧れる情熱の街 リオ・デ・ジャネイロ

期 間：2026年8月26日(水)～9月4日(金) 【関西空港発着】

【Bコース（12日間）】一生に一度は訪れたい天空都市 ゆったりマチュピチュ2連泊

期 間：2026年8月26日(水)～9月6日(日) 【成田空港発着】



リオ・デ・ジャネイロ（コルコバードの丘）



マチュピチュ

コース名	発着地	ツアー代金（実加金30,000円含む）
A エミレーツ航空で行く 世界が憧れる情熱の街 リオ・デ・ジャネイロ	関西空港	2名1室利用 730,000円
		1名1室利用 856,000円
B 一生に一度は訪れたい天空都市 ゆったりマチュピチュ2連泊	成田空港	2名1室利用 1,180,000円
		1名1室利用 1,340,000円

※別途、燃油サーチャージ及び空港諸税のほか、海外旅行傷害保険料等が必要となります。

■申込期間：2026年3月31日(火)まで

■申込方法：以下のいずれかの方法にてお申し込みください。

- ①「第14回世界同朋大会参加申込書」（宗派公式ウェブサイトよりダウンロードできます）に必要事項をご記入いただき、近畿日本ツーリスト京都支店まで郵送いただくか、FAXまたはメールに添付して送信。

- ②宗派公式ウェブサイト掲載の「第14回世界同朋大会参加申込フォーム」より必要事項を送信。



宗派公式
ウェブサイト

ツアー申し込み・お問い合わせ

近畿日本ツーリスト株式会社 京都支店

〒604-8186 京都府京都市中京区車屋町通池下ル梅屋町358 アーバネックス御池ビル西館8F

TEL：075-221-7401 (10時～17時) FAX：075-223-5192

E-mail：kyoto2@or.knt.co.jp

大会に関するお問い合わせ

組織部（国際室）

〒600-8505 京都府京都市下京区烏丸通七条上る常葉町754番地

TEL：075-371-9187 (9時～17時) FAX：075-371-9194

E-mail：kokusai@higashihonganji.or.jp

真宗本廟奉仕のご案内

「同朋会館」は、全国から集う方が寝食を共にし、親鸞聖人の教えを聞き、真宗門徒の生活を習う聞法の道場です。ご門徒・お友達を誘って、真宗本廟奉仕にご参加ください。

お申し込みは上山希望日の40日前までに行ってください。

テーマのある真宗本廟奉仕のお申し込みはこちら…



テーマのある真宗本廟奉仕のご案内

◆真宗本廟奉仕団 申込締切：2026年2月21日(土)

[2泊] 4月1日(水)～4月3日(金) / **[1泊]** 4月1日(水)～4月2日(木)

宗祖親鸞聖人の御誕生を縁とした親鸞聖人御誕生会（音楽法要）や全戦没者追弔法会等の「春の法要参拝」を中心とした奉仕団です。

【参加費】〈2泊3日〉18,000円、米2kg（1升4合）または米代1,300円

〈1泊2日〉13,000円、米1.2kg（8合）または米代800円

※上記は大人（15歳以上）の場合です。

◆真宗本廟おみがき奉仕団 申込締切：2026年5月29日(金)

[2泊] 7月8日(水)～7月10日(金) / **[1泊]** 7月8日(水)～7月9日(木)

盂蘭盆会を迎えるにあたって、真宗本廟内の仏具のおみがきを中心とした奉仕団です。

2026年7月1日より、同朋会館冥加金を改定します。詳細は『真宗』誌
2025年9月号16頁または宗派ウェブサイトをご覧ください。



【参加費】〈2泊3日〉22,000円、米2kg（1升4合）または米代1,500円

〈1泊2日〉16,000円、米1.2kg（8合）または米代900円

※上記は大人（15歳以上）の場合です。

●真宗本廟奉仕施設の利用について…



●「縁」—納骨・帰敬式同朋会館宿泊プラン…
納骨・帰敬式でのご参拝の際、同朋会館にご宿泊いただけます。



【研修部（同朋会館）TEL：075-371-9185】

現在受付中の募集・開催要項等

詳細は本誌もしくは宗派公式ウェブサイトをご覧ください。

◆南米開教区開教使募集要項（本誌1月号42頁）

随時募集（派遣者が定員に達した時点で募集を終了いたします）

組織部（国際室）【TEL：075-371-9187 / E-mail：kokusai@higashihonganji.or.jp】



◆雪に榆林池の平with子ども報恩講（本誌1月号39頁）

申込締切：2026年2月16日（月）

新潟教区 高田教務事務所内 池の平青少年センター係

【TEL：025-524-3913 / FAX：025-524-2645】

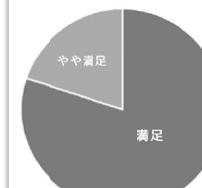
(12)

第3回「真宗トーク」アプリで対話カフェ

参加費
無料

～問い合わせはじまるコミュニケーション～参加者募集！

真宗トークアプリの
体験について満足度を
教えてください



(2024年度参加者アンケートより)

「真宗トーク」アプリで対話カフェは、テーマをもとに短い対話を重ねるユニークなコミュニケーション体験です。画面に示されたお題に沿って、それぞれの考え方を1分間で語り、それに対して他の参加者がカードを使って感想を共有します。多様な視点から心を開き、対話の大切さを再認識してみませんか？

この体験では、カード形式で行っていた「真宗トーク」をウェブアプリ化し、オンラインで対話を楽ししながら、「聞き合う場づくり」を体験します。お寺の行事や同朋の会などで、対話のきっかけづくりとしても活用されることを願いとしています。ぜひ、お気軽にお申し込みください。

1 日 時 ①2026年2月17日(火) 16時～18時

②2026年3月5日(木) 16時～18時

2 会 場 オンライン（Zoom）

3 対 象 真宗大谷派に属する寺院の僧侶・寺族・門徒

※スマートフォンが使え、それ以外のPC等でZoomに参加できる方

4 内 容 「真宗トーク」（アプリ版）を使ったオンラインの対話コミュニケーション体験会

5 定 員 各回12名（先着順）

6 参 加 費 無料

お申し込みフォーム
はこちあ→



【前回の参加者からはこんな声がありました！】

話す、聞く、場の信頼というお寺に求められていることが体感できた。

スマホ操作に不慣れで不安もあったが、比較的使いやすかった。

対話をとおして自分の思いを言葉にし、一人一人から感想を頂戴する仕組みは面白かった。



「真宗」トークアプリの
詳細はこちあ→

※参加者には特典として、カード版の
「真宗トーク」を1部贈呈します。

【お問い合わせ】

真宗教化センター寺院活性化支援室（寺院運営活性化支援担当）

E-mail：kyokacenter_shienshitsu@higashihonganji.or.jp TEL：075-371-9208

(13)

大谷祖廟（親鸞聖人御廟所）のご案内

大谷祖廟は親鸞聖人の御廟所であり、聖人をはじめ、本願寺の歴代、全国各地の寺院・ご門徒の方々のご遺骨が納められています。

開門：5時 閉門：17時

納骨・永代経・読経受付時間 8時45分～11時30分／12時45分～15時30分

※11時30分～12時45分までは受付を休止しています。

永代経法要 毎日14時30分～15時 定例法話 每月13日・28日（8/13、9/28、11/28、12/28は休止）

永代経法要後

納骨・永代経



※外装を除く、高さ15cm・直径9cm（3寸壺以下）を超える容器であり、1種から4種で納骨のお申込みをされる場合は、納骨体数毎に志納額に20,000円を加算してご志納いただきます。
※改葬（墓じまい等）の場合は容器の大小問わず、志納額に20,000円を加算してご志納いただきます。
※納骨された遺骨はお返しすることができません。

種別	志納額	読経	お取り扱い
別座1等	1,000,000円以上	別座読経	納骨当日、抹茶接待 毎月の命日・春秋彼岸会・盂蘭盆会に永代読経 祥月命日・春秋彼岸会に30年間案内状送付
別座2等	500,000円以上		納骨当日、抹茶接待 毎月の命日・春秋彼岸会に永代読経 祥月命日・春秋彼岸会に20年間案内状送付
別座3等	300,000円以上		納骨当日、抹茶接待 毎月の命日・春秋彼岸会に永代読経 祥月命日・春秋彼岸会に10年間案内状送付
別座4等	150,000円以上		毎月の命日に永代読経 祥月命日に10年間案内状送付

種別	志納額	志納額 【容器大／改葬】	読経	お取り扱い
1種	100,000円以上	120,000円以上	一座読経	毎月の命日に永代読経。祥月命日に10年間案内状送付
2種	70,000円以上	90,000円以上		祥月命日と彼岸会（春または秋）に永代読経
3種	40,000円以上	60,000円以上		彼岸会（春または秋）に永代読経
4種	20,000円以上	40,000円以上		永代経のお取り扱いはございません

改葬納骨志

「墓じまい」等に伴って、改葬されたご遺骨を受付する際に、「法名」・「俗名」・「命日」等の情報が一切不明の場合、改葬納骨志20万円以上のご志納により受付させていただきます。

詳細内容を確認させていただくため、改葬納骨志を希望される場合は、事前に大谷祖廟事務所までお問い合わせください。

種別	志納額	場所	読経の扱い
賀慶殿別座読経	70,000円以上	賀慶殿	別座読経
茶所別座読経	50,000円以上	茶所仏間	別座読経
本堂読経	7,000円以上	本堂	一座読経
茶所読経	5,000円以上	茶所仏間	一座読経
御廟読経	5,000円以上	御廟	一座読経
総経	1,000円以上	御廟	夕刻に総じて読経

読経

（お経のみのお扱いです）



●団体参拝について…



●仏前結婚式について…



●施設利用について…



大谷祖廟事務所 〒605-0071 京都市東山区円山町477
TEL : 075-561-0777 FAX : 075-533-0780

真宗教化センター しんらん交流館のご案内

教化情報の発信・交流の拠点として、人と人をつなぐ地域に開かれた行事を開催しています。

東本願寺日曜講演 9時30分～11時

2月1日 九州教区光行寺住職 保々真量氏

「人と生まれたことの意味を求めるながら意味に迷い苦しむ人間」

2月8日 青少幼年センター主幹 鷺嶺彰宏氏

「大谷派における青少幼年教化の歴史～青少幼年と共に悩み、共に生きる～」

2月15日 東京教区尊福寺住職 二階堂行壽氏

「浄土真宗の仏事一言葉に出遇い、人は生まれる」

※2月22日は休会

◆月刊聞法誌『ともしび』（東本願寺日曜講演や親鸞聖人讃仰講演会の抄録を掲載）

2026年2月号「合掌の道」川島弘之氏（東京教区報佛寺衆徒）

1部165円（税込・送料別）

お申し込みは東本願寺出版（TEL : 075-371-9189）まで



しんらん交流館定例法話 お勤め14時～、法話14時30分～15時30分（毎月12日・27日は10時～）

※2月10日を除く毎週火曜日休会。その他都合により休会する場合があります。

2月の日程はこちら…



電話相談「東本願寺 いのちとこころの相談室」毎週木曜日13時～17時

皆さまのお悩み・ご相談をお聞きします。TEL : 075-371-9280

東本願寺文庫・絵本コーナー 9時～16時30分 ※絵本コーナーの閲覧は17時まで

書籍・絵本の閲覧、貸し出しを行っています。

浄土真宗ドットインフォ（しんらん交流館ホームページ）のご案内

お寺のサポート情報・浄土真宗の教えにふれる情報を配信しています。



真宗教化センター しんらん交流館 [開館時間／9時～17時 休館日／毎週火曜日]

〒600-8164 京都市下京区諏訪町通六条下る上柳町199番地

TEL : 075-371-9208 メール : shinrankoryukan@higashihonganji.or.jp

真宗本廟 参拝接待所のご案内

真宗本廟収骨・読経・帰敬式・お斎・団体参拝の受付を行っています。【開所時間／9時～16時】
〔真宗本廟開門・閉門時間／3月～10月：5時50分～17時30分、11月～2月：6時20分～16時30分〕

各種お申し込み受付時間・お取り扱いの予定は本誌40頁～41頁



真宗本廟収骨

法義相続・本廟護持を願いとする相続講金を12万円以上お納めいただきますと、その御扱いとして、御影堂の宗祖親鸞聖人御真影のもとに、ご遺骨をお収めさせていただきます。

事前の手続き ①相続講金をお手次ぎ(所属)の寺院・教会をとおしてお納めいただき、所定の手続きの上、「真宗本廟収骨證」の発行を受けてください。参拝接待所では、「収骨證」発行の手続きをしておりません。必ず事前手続きを行ってください。

②「収骨證」発行の際に配布される参拝案内冊子『参拝される皆さまへ』(真宗本廟収骨・読経取り扱い表付)を参照の上、参拝される3週間前までに宗派公式ウェブサイトから届出いただくか、事前届出ハガキに参拝予定日・参拝人数等をご記入いただき、参拝接待所までご送付ください。

※「収骨證」1枚につき、1体のお収めとなります。

当日の受付 ①ご遺骨に「収骨證」を添えて、受付時間内に参拝接待所にて手続きください。
②ご遺骨は参拝接待所にて7cm角の桐箱にお移し替えいたします。お収めしたご遺骨はお返しきできません。また桐箱の容量を超えるご遺骨はお返しすることになります。

《お斎付真宗本廟収骨について》

※相続講金を1体につき30万円以上お納めいただきますと、規定人数分(3名)のお斎の接待があります(要事前申込)。
詳細は教務所または参拝接待所までお問い合わせください。



本山読経

本山永代経 御影堂にて永代経の御紹解(初めての読経)を行い、『法名記』に登載します。
以後、春・秋彼岸会中にお勤めする「永代経総経」にご案内いたします。

御影堂読経 御影堂にて一座読経いたします。
受付時に法名紙をお渡しし、代表者に法名を清書いただきます。法名紙は読経の際(焼香時)に広蓋に納めていただきます。

仏間読経 参拝接待所仏間にて一座読経いたします。参拝接待所受付に当日お申込みください。

※都合により読経場所を変更する場合があります。

種別	読経志	読経扱	お斎接待
別座特等	1,000,000円以上	完全別座	希望数
別座一等	500,000円以上	別座	10食
別座二等	300,000円以上	別座	5食
別座三等	200,000円以上	別座	3食
四等	100,000円以上	一般	なし
五等	50,000円以上	一般	なし
御影堂読経	30,000円以上	一般	なし
仏間読経	10,000円以上	隨時	なし

(8)

〈本山永代経・御影堂読経の事前の手続き〉

- ①読経志をお手次(所属)の寺院・教会をとおしてお納めいただき、所定の手続きの上、「永代経御紹解證」・「御影堂読経参詣證」の発行を受けてください。
- ②「永代経御紹解證」・「御影堂読経参詣證」発行の際に配布される参拝案内冊子『参拝される皆さまへ』(真宗本廟収骨・読経取り扱い表付)を参照の上、参拝される3週間前までに宗派公式ホームページから届出いただくか、事前届出ハガキに参拝予定日・参拝人数等をご記入いただき、参拝接待所までご送付ください。
※本山永代経四等、本山永代経五等、御影堂読経は当日申込できます。

〈本山永代経・御影堂読経の当日の受付〉

- 「永代経御紹解證」または「御影堂読経参詣證」を必ず持参の上、受付時間内に参拝接待所にて手続きください。
- 《完全別座読経について》 読経志100万円以上お納めいただきますと、親族のみでの別座にて読経の上、希望数のお斎の接待があります(要事前申込)。
- 《別座読経について》 読経志を20万円以上お納めいただきますと、別座(同日に他に別座の申込がある場合はご一緒に案内)にて読経の上、上記のとおりお斎の接待があります(要事前申込)。

※完全別座、別座の受付は10時までとなります。当日は10時までに受付をお済ませください。

帰敬式



帰敬式は、仏・法・僧の三宝に帰依し、仏弟子となる大切な儀式です。

真宗本廟では、基本的に毎日、午前と午後に執行しています。

当日の受付 参拝接待所にて9時から受付をいたします。

お礼金 お一人10,000円(20歳以下5,000円)

- お斎について 精進料理のお膳を書院でお召し上がりいただけます。
- 真宗本廟団体参拝について 諸般拝観や清掃奉仕等を通して、真宗の教えにふれていただくことを願いとしています。

晨朝法話・真宗本廟法話

晨朝【阿弥陀堂及び御影堂】毎日7時～ 晨朝法話【御影堂】毎日7時30分頃～

真宗本廟法話【視聴覚ホール・御影堂・参拝接待所仏間】

通常：10時10分～/13時10分～ 遅夜日(12日・27日)：13時10分～

御命日(28日)：9時30分～

法要・法話のご案内...



参拝接待所ギャラリー 9時～16時 入場無料

「親鸞聖人のご生涯」(常設展)



涉成園(枳殼邸)

開園時間(3月～10月) 9時～17時(受付は16時30分まで)

(11月～2月) 9時～16時(受付は15時30分まで)

庭園維持寄付金 一人700円以上(高校生・中学生300円以上、小学生以下無料)

涉成園

[本廟部参拝接待所 TEL: 075-371-9210]

(9)

※帰敬式について、住職選定法名での受式をご希望の場合は、受式の1ヵ月前までに参拝接待所までお申し込みください。

		取骨・読経		帰敬式		法話		備考
受付		午前	午後	午前	午後			
日	曜	10:10まで	13:10まで	10:10まで	13:10まで	10:10	13:10	
1	日	●	●	●	●	●	●	
2	月	×	×	×	×	●	●	
3	火	×	×	×	×	×	×	おみがき
4	水	●	●	●	●	●	●	
5	木	●	●	●	●	●	●	
6	金	×	●	×	●	×	●	得度式
7	土	●	●	●	●	●	●	
8	日	●	●	●	●	●	●	
9	月	●	●	●	●	●	●	
10	火	●	●	●	●	●	●	
11	水	●	●	●	●	●	●	
12	木	×	(14:10)	×	(14:10)	×	●	午前御莊嚴 先門首御命日達夜
13	金	●	●	●	●	●	●	
14	土	●	●	●	×	●	●	歌徳院殿御命日達夜
15	日	●	●	●	●	●	●	
16	月	×	×	×	×	×	×	御莊嚴
17	火	【春季彼岸会】 取骨・読経については、 お取扱いはありません (仏間読経のみお取扱 いがあります)。		● (9:30)	×	9:20	●	
18	水			×	×	9:20	●	
19	木			×	×	9:20	●	
20	金			● (9:30)	×	9:20	●	
21	土	ご遺骨を持参された 場合、参拝接待所に お預かりし、24日に お収めいたします。		×	×	9:20	●	
22	日			● (9:30)	×	10:15	●	永代経総経
23	月			● (9:30)	×	9:20	×	午後御莊嚴払い
24	火	×	● (14:10)	×	● (14:10)	×	●	午前御莊嚴 蓮如上人御祥月命日達夜
25	水	●	×	●	×	9:30	×	蓮如上人御祥月命日中 午後御莊嚴払い
26	木	●	●	●	●	●	●	
27	金	×	● (14:10)	×	● (14:10)	×	●	午前御莊嚴 宗祖聖人御命日達夜
28	土	●	×	●	×	9:30	×	宗祖聖人御命日中
29	日	●	●	●	●	●	●	
30	月	●	●	●	●	●	●	
31	火	×	×	×	×	×	×	御莊嚴

真宗本廟—收骨・謁經・帰敬式—受付時間表

×—お取扱いなし ●—お取扱いあり ※受付は9:00より開始、()—受付締切変更時間

	取骨・読経		帰敬式		法話		備考
受付	午前	午後	午前	午後			
日曜	10:10まで	13:10まで	10:10まで	13:10まで	10:10	13:10	
1 水	【春の法要】 取骨・読経については、お取扱いはありません（仏開説経のみお取扱いがあります）。		● (9:30)	×	9:30	×	師徳奉讃法要 親鸞聖人御誕生会（音楽法要）
2 木			● (9:30)	×	×	×	全戦没者追弔法会
3 金	ご遺骨を持参された場合、 参拝接待所にてお預かりし、 4日にお取扱いいたします。		●	×	10:20	×	樹葬講員故者追弔会兼帰敬式受式物故者追弔会 午後莊嚴払い
4 土	●	●	●	●	●	●	
5 日	●	●	●	●	●	●	
6 月	●	●	●	●	●	●	
7 火	●	●	●	●	●	●	
8 水	●	●	●	●	●	●	
9 木	●	●	●	●	●	●	
10 金	×	×	×	×	×	●	住職・教会主管者在任50年記念誓製贈呈式
11 土	●	●	●	×	●	●	一如上人御祥月命日逮夜
12 日	×	● (14:10)	×	● (14:10)	×	●	午前御莊嚴 先門首御祥月命日逮夜
13 月	●	×	●	×	9:30	×	先門首御祥月命日中 午後御莊嚴 琢如上人御祥月命日逮夜
14 火	●	●	●	×	●	●	歌德院殿御命日逮夜
15 水	×	×	×	×	9:30	×	立教開宗記念法要 午後御莊嚴払い
16 木	●	●	●	●	●	●	
17 金	×	×	×	×	●	×	蓮如上人御影吉崎別院御下向式
18 土	●	●	●	●	●	●	
19 日	●	●	●	●	●	●	
20 月	●	●	●	●	●	●	
21 火	●	●	●	●	●	●	
22 水	●	●	●	●	●	●	
23 木	●	●	●	×	●	●	綽如上人御祥月命日逮夜
24 金	● (14:10)	×	● (14:10)	●	●	●	蓮如上人御命日逮夜
25 土	●	●	●	●	●	●	
26 日	●	●	●	●	●	●	
27 月	×	● (14:10)	×	● (14:10)	×	●	午前御莊嚴 宗祖聖人御命日逮夜
28 火	●	×	●	×	9:30	×	宗祖聖人御命日中 住職任命式
29 水	●	●	●	●	●	●	
30 木	●	●	●	●	●	●	

一等旌賞

八木顯太郎 戸田直夫 曾我 元 鈴木智顕 藤澤 彰
武田典久

二等旌賞

松澤成人

四等旌賞

藤井良明

八等旌賞

寺谷正行 岡崎 慶 寺澤至恩 佐々木泰雅 石田至宏
金波智明 稲垣潤映 則竹真幸 斎田弘登 丹下 理

所在地変更

大阪教区第22組 永覺寺

大阪府貝塚市堤一丁目14番10号

敬 用

ご生前のご功労を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

(2025年11月16日～12月15日受付まで)

住職及び前住職

新潟教区 第19組 善仁寺
住職 松永式惠
2025・8・9寂 (87歳)

富山教区 第3組 聖光寺
前住職 北田堅信
2025・11・2寂 (96歳)

金沢教区 第8組 稽念寺
住職 中島隆志
2025・9・2寂 (85歳)

大垣教区 第10組 光照寺
前住職 下野秀然
2025・11・6寂 (89歳)

輪島塗記念品・調度品・什器・家具・修理品など承ります。

漆の里
輪島 Wajima

電話 0768-23-0188 フリーダイヤル 0120-23-0856 FAX 0768-23-0089
〒928-0001 石川県輪島市河井町4部99(朝市通り東) 営業時間AM8:30～PM17:00 毎週日曜日定休

毎月全国へ出張訪問中

まずは電話、メールなどでご連絡ください。
日程相談の上参上いたします。

寺宝 正絹金襴縞子 文化財修理修復表装

御絵伝・七高僧・聖徳太子

〒602-8268 京都市上京区山里町236-1
TEL 075-417-6966 sugikake@gmail.com
自社工房内で一貫作業いたします

表具幅 83cmまで 正絹
表具幅 70cmまで 正絹
44万円 (税込) 38万円 (税込)

そろそろ修理

見積無料

大阪教区 第8組 圓照寺

住職 西山哲
2025・8・13寂 (89歳)

大阪教区 第24組 専念寺

前住職 菊地耕
2025・10・18寂 (93歳)

大阪教区 第25組 西休寺

前住職 藤並崇
2025・10・21寂 (80歳)

山陽四国教区 赤穂組 明顯寺

前住職 内藤雅文
2025・10・18寂 (74歳)

山陽四国教区 美作組 教本寺

前住職 楠葉智章
2025・8・11寂 (76歳)

九州教区 熊本西組 鎮道寺

住職 和氣孝友
2025・10・7寂 (79歳)

坊守及び前坊守

東北教区 山形第3組 等順寺

前坊守 藤戸慧子
2025・8・30寂 (83歳)

金沢教区 第10組 頼慧寺

前坊守 吉田三千代
2025・10・15寂 (93歳)

岡崎教区 第7組 勝燈寺

前坊守 安藤いくよ
2025・10・27寂 (103歳)

三重教区 桑名組 常音寺

坊守 松崎律子
2025・9・21寂 (75歳)

京都教区 長浜第17組 存光寺

坊守 佐野芳子
2025・11・2寂 (81歳)

原典に立ち返った学びを進めるための聞法テキストシリーズ第四弾

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃記念

宗祖親鸞聖人著作集 四

聖教編纂室(編)／東本願寺出版(発行)

原典に立ち返った学びを進めるための聞法テキストシリーズ第四弾。

宗祖親鸞聖人撰述の仮名による聖教(『尊号真像銘文』『一念多念文意』『唯見鈔文意』『弥陀如來名号德』)、また宗祖書写の聖教(『一念多念分別事』『後世物語聞書』『自力他力事』『唯見鈔』)の翻刻を収載。

A5判・箱入り 416頁 定価: 4,950円(税込)



〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る 詳しい書籍情報・「東本願寺出版」検索
TEL.075-371-9189 FAX.075-371-9211

宗祖親鸞聖人著作集 四

尊号真像銘文
一念多念分別事
後世物語聞書
唯見鈔文意
自力他力事
唯見鈔文意
弥陀如來名号德

東本願寺出版

当派の寺院・教会からの
ご注文は2割引となります。

公示・告示・任免等

公示告示

1 通告公示

公示番号	達令	公示日	主な内容
第17号	宗務役員給与規程の一部を改正する達令	2025年12月10日	家族手当の給付基準の改正。

※公示文は、宗派公式ウェブサイトに掲載しています。
QRコード

任免辞令

金倉泰賢

「大谷祖廟及び東大谷墓地に関する総合整備委員会」
委員を委嘱します

(2025年9月18日)

花園兼有 坂本敏朗
宗務所及び視聴覚ホールの営繩並びに境内設備の改修等
に関する委員会委員を委嘱します

(10月24日)

井上 裕 藤原正雄
宗費賦課金に関する審議会委員を委嘱します

(11月4日)

桑谷 優
北海道教区青少幼年指導主任に任命します

日野 薫 岡 信行
本廟部嘱託に任命します

期限 2026年11月30日まで

亀谷 亨
「教化伝道研修」第5期の研修長を委嘱します

期限 2027年6月30日まで

中村 晃 佐々木友美
「教化伝道研修」第5期の研修スタッフを委嘱します

期限 2027年6月30日まで

原 公樹 佐々木尚 丘 宗宏
福井教区寺院活性化支援員（過疎・過密地域寺院教化支援担当）に任命します

期限 2026年5月31日まで

(以上、12月1日)

片岡俊之
輔導使に任命します

(12月11日)

住職 (12月13日)

北海道教区第7組 觀敬寺	寺本惇一
新潟教区第2組 託明寺	斎藤 遼
新潟教区第1組 本立寺	渡邊智子
富山教区第10組 応声寺	和田悠史
富山教区第13組 真友寺	寺内 真
金沢教区第5組 西光寺	中條利希
岐阜高山教区益田組 光雲寺	江馬 匠
名古屋教区第11組 光輪寺	加藤久貴
京都教区長浜第20組 光輪寺	足利伸也
京都教区山城第1組 法順寺	井上貴文
大阪教区第19組 南溪寺	竹林正智
大阪教区第24組 圓光寺	藤岡 宣
山陽四国教区備後組 寶泉寺	三次正信

住職代使者

東北教区山形第9組 頤尊寺 内藤秀縁

東京教区山梨組 尊徳寺

東京教区長野2組 弘誓寺

新潟教区第10組 德照寺

新潟教区佐渡組 廣圓寺

新潟教区高田13組 雙善寺

能登教区第5組 本勝寺

能登教区第10組 淨正寺

福井教区第6組 應運寺

福井教区第7組 賀光寺

大垣教区第6組 蒙林寺

大垣教区第7組 相應寺

三重教区三講組 三光寺

三重教区三講組 養泉寺

三重教区中勢1組 安誓寺

京都教区長浜第14組 福泉寺

京都教区近江第3組 最勝寺

京都教区近江第9組 願宗寺

京都教区近江第10組 光雲寺

大阪教区第2組 唯専寺

大阪教区第15組 正覺寺

大阪教区第18組 淨雲寺

大阪教区第18組 西勝寺

大阪教区第19組 宗德寺

山陽四国教区神戸組 遍照寺

九州教区熊本西組 鎮道寺

大坂教区第11組 西尾教会

教會主管者代使者

岡崎教区第11組 西尾教会 泉 敬祐

教師

僧正

圓谷 淳 佐々木正博

権僧正

白鳥 熱 洲崎善範

大僧都

朝日真悟 藤井俊朗 藍川竜弥 野村正示 和氣孝友

権大僧都

中村俊風 河野徳有 加藤博証 勝道 信 竹中慈祥

鈴木 哲

藤岡正樹

大藤赳磨

松永寛亮

古川達雄

不二井誠

貞廣賢了

清水慈峰

鷹尾大英

谷 光真

吉田法照

藤田宣和

庵渡よしみ

岡本広之

東谷慎太朗

吉武昭隆

仲西裕昭

市岡ひろみ

本田 哲

入江賀彦

谷 昌紀

鹿崎正明

松山 隆

大山彰英

大城史雄

藤澤 彰 藤谷 真 福島潤徳 菊地 耕

僧都

高津隆紹 木井義慶 杉本智海

権僧都

松永真吾 北田堅信 楠葉智章 中島隆志

律師

中尾 哲 北島 玄

権律師

旧富文農 武田典久 武田和信 内藤雅文

法師位

武田 文

満位

七尾了俊 木井義明

入位

高津隆憲 加藤大至

学階

学師

高津隆憲 加藤大至

功章旌賞

特殊功章

杉浦 創 古海公丸 梶塚孝純 北畠 玄

第一功章

八木顯太郎 戸田直夫 曾我 元 鈴木智顕 藤澤 彰

杉本智海 武田典久

第二功章

松澤成人

第四功章

藤井良明

第八功章

植村 治 寺谷正行 中村俊風 岡崎 慎

特殊大旌賞

下野秀然

特殊旌賞

杉浦 創 梶塚孝純 杉本智海 太田融哉 藤谷 真

丹下宗明



真宗聖典 第二版

聖教編纂室 編

『真宗聖典』(初版)の本文を、近年の研究成果を踏まえながら確認し、より充実した『真宗聖典 第二版』として刊行。
同朋の会や講義・学習会等、日々の間違のテキストとしてご活用ください。
当派の寺院・教会からのご注文は2割引となります。

東本願寺出版

〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る 詳しい書籍情報・東本願寺出版 検索

(2)



www.shoyeido.co.jp



(3)



〒602-8034 京都市上京区油小路通丸上路 TEL(075)231-1063 FAX(075)231-1068

今月の推薦念珠



8mm
25×25

京 雅（水晶共仕立）（本綱房）

店頭販売価格
玉の表面のさざなみを月に、小さなふきを目に見立てた
の有名な由来とされ、古事記には、魔除けの力があるとされています。

店頭販売価格
14,300円(税込)
本水晶丸玉と薄く削り込んだ水晶平玉
を合せさせ白色本綱房でお仕立いたしました。

※掲載商品のカラー画像はオンラインショップでご覧頂けます。

御法要の記念品は
品質・価格・残った品物の御引取を保証する
念珠の製造専門店

福永念珠舗

創業寛政九年 京都

〒600-8174 京都市下京区東本願寺前上珠数屋町角
電話 (075)-351-2960 FAX (075)-351-0018



本星月菩提樹
大根



京
雅



福永
念珠舗

真宗 2月号

公示・告示・任免等 ご案内・要項

公示·告示·任免等

- | | |
|----------|-----|
| 公示・告示 | (2) |
| 任免辞令 | (2) |
| 住職 | (2) |
| 住職代務者 | (2) |
| 教会主管者代務者 | (3) |
| 教師 | (3) |
| 学階 | (3) |
| 功章・旌賞 | (3) |
| 所在地変更 | (4) |
| 敬弔 | (4) |

ご案内・要項

- | | |
|-----------------------------|-------------|
| 真宗本廟収骨・読経・帰敬式受付時間表 | (3月～4月)…(6) |
| 真宗本廟 参拝接待所のご案内 | …(8) |
| 大谷祖廟（親鸞聖人御廟所）のご案内 | …(10) |
| 真宗教化センター しんらん交流館のご案内 | …(11) |
| 真宗本廟奉仕のご案内 | …(12) |
| 現在受付中の募集・開催要項等 | …(12) |
| 第3回「真宗トーク」アプリで対話カフェ 参加者募集 | …(13) |
| 第14回世界同朋大会のご案内 | …(14) |
| 「蓮如上人御影道中」自主参加者募集 | …(16) |
| 蓮如さんゆかりの吉崎別院での「御文」講習会 参加者募集 | …(17) |
| 第26回非戦・平和沖縄研修会 募集要項 | …(18) |
| 真宗本廟奉仕・縁・諸研修報告【上山報告】 | …(19) |
| 第60回「京の冬の旅」大寝殿・宮御殿・鐘楼 特別公開 | …(20) |
| 教区真宗学院生募集要項（金沢・大垣・名古屋） | …(20) |

本誌に関してのご意見・
ご要望をお寄せください。 〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る 東本願寺出版「真宗」誌係
FAX:(075)371-9211 E-mail:shuppan@higashihonganji.or.jp

2026年(令和8年)2月1日発行 第1463号 1部定価：275円（本体250円+税10%・送料別）無月1日発行)

編集 東本願寺出版（真宗大谷派宗務所出版部）
発行所 真宗大谷派宗務所 代表者 木越涉
〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る 电话(075)371-9181 振替01000-6-27404（出版部）
印刷所 (株)京富印刷 京都市西京区大根南福西町3-4

英語で真宗の教えにふれる



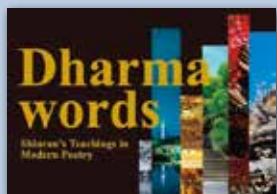
お念佛で救われるって どういうことだろう **念佛の救い**

池田勇諦 著

「あなたはいま、ほんとうの念佛と言われましたが、ほんとうの念佛って、どんな念佛なのでですか」。著者の問い合わせから、念佛のはたらきと阿弥陀如来の本願に遇うことの意味を改めて見つめなおす。日本語・英語・ポルトガル語の3カ国語で収載。

新書判／182頁 定価：1,100円（税込）

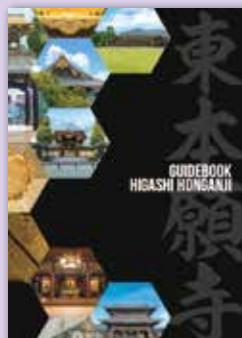
Dharma Words —Shinran's Teachings in Modern Poetry—



B6判（横長）
28頁・オールカラー
定価：550円（税込）

法語（日本語・英語）を、東本願寺の四季の写真とともに紹介。法語集としても、また写真集としても味わっていただける一冊。

GUIDEBOOK HIGASHI HONGANJI



A5判
40頁・オールカラー
定価：1,100円（税込）

東本願寺の英語版ガイドブック。基本的な仏教・真宗の教えの解説から始まり、重要文化財である主な建物などを紹介。

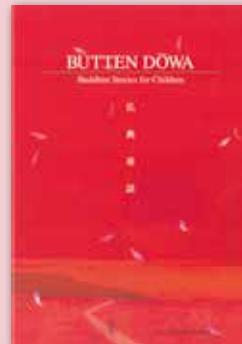
SERVICE BOOK [Compact edition]



B6判／108頁
定価：1,100円（税込）

『正信偈 同朋奉讚 勤行集』にローマ字を併記し、海外の方と一緒ににお勤めができる勤行本。北米開教区が発行した『SERVICE BOOK』のコンパクト版。

BUTTEN DŌWA- 英訳仏典童話



A6変形判
82頁・オールカラー
定価：880円（税込）

渡邊愛子 文
横河頸一 訳
畠中光享 絵
絵本『仏典童話』（10篇）の原文（日本語）とともに英訳を付した一冊。畠中光享氏の挿絵入。

東本願寺出版

TEL:075-371-9189
FAX:075-371-9211

詳しい書籍情報・試し読みは
東本願寺出版

当派の寺院・教会からの
ご注文は2割引となります。